

記入日：令和3年 1月 31日

令和3年度 特別養護老人ホーム いちようユニット運営計画書

| | | |
|-----|------|-----|
| 施設長 | リーダー | 作成者 |
| | | |

～私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます～

| | |
|-----------------------------|---|
| 中期経営計画目標 (2020.4-2023.3) | ：“KAIGO × テクノロジー” ～超高齢化社会・生産年齢人口急減社会にあっても、地域の皆様に高品質のサービスをお届けするために～ |
| 法人事業計画目標 | ： 予測できない時代だからこそ... 突き抜けるくらいまでやってみよう！ |

| | |
|------------|----------------------------------|
| ユニット運営計画目標 | ： ～ 無駄を見極め、無駄を捨てる。質の「効率化」を目指して ～ |
|------------|----------------------------------|

行 動 計 画 表

(期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

| 区分 | 項目 | ねらい | 手順 | 具体的行動計画（実践をするために何をするか） | | | | | 実施結果と今後の展望 |
|---------------------------|--|---|----|---------------------------|---------------------------|-----------------|-------------------------------|-------|------------|
| | | | | 誰が | 誰に対して | 何を | どのように | いつまでに | |
| 1. 個別 々の基 本につ いて | ⑤ 法人理 念や施設 の方針は、 わかりや すいもの で職員に | スタッフひとりひとりが社会人としての常識を当たり前だと認識でき、経営理念を意識した判断を行ない地域信頼 | 説明 | リーダー | 生活相談員 ユニットリーダー ケアカー | サービスの向上、経営理念の理解 | 令和3年度ユニット運営計画書について、この項目の説明を行う | 4月 | |
| | | | 実施 | 生活相談員 ユニットリーダー リーダー | 生活相談員 ユニットリーダー リーダー | の推進 | 毎月のユニット会議にて経営理念の復唱し、意味を確認し合う | 毎月 | |

| | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|--|------|--|--|---------------------|--|--------------|--|
| | 徹底している | の向上に繋げる | | ケアワーカー | ケアワーカー | | | | |
| | | | 実施 | ユニットリーダー サブリーダー | ケアワーカー | | 4回/年ユニット会議の場で、経営理念やサービスの質の向上に関する勉強会を開催する | 4月、7月、10月、1月 | |
| 3. 入居者にそれぞれの暮らしを続けてもらうために | ④ 排せつの個人データをとり、排せつ用品は各入居者のリズムに合わせてものを使用している | 排せつに関する課題の改善について、Dfree を使用し排せつのタイミングを事前に察知することで、失禁の軽減及び羞恥心への配慮並びに不快感の軽減につなげる 新たな開発事業にスタッフが携わることで0→1 を作り出すやりがいいにつなげる | 説明 | サブリーダー | 生活相談員 ユニットリーダー ケアワーカー | 排せつ課題の改善、取り組みの意図の周知 | 当該項目の説明を行う | 4月 | |
| | | | 計画 | 生活相談員 ケアマネジャー 管理栄養士 看護職員 理学療法士 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | 生活相談員 ケアマネジャー 管理栄養士 看護職員 理学療法士 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | | ユニット内入居者2名を対象にDfree を活用した排せつに関する課題の改善を目指し、「排せつ支援計画」に沿ってモニタリングで課題に対する使用方法を検討・決定する | | |
| | | | 実施 | | | | Dfree を使用し、計画した内容を実施する 課題やトラブルが発生した場合は、当月のユニット会議で議論し合い、改善点を抽出し対策する | | |
| | | | 評価改善 | | | | モニタリングを実施し、取組の結果や今後の課題を評価し排せつ支援計画書+LIFE(旧CHASE)に反映する | | |
| | | | 指導 | ユニットリーダー サブリーダー | ケアワーカー | | 新規職員には Dfree の使用方法や排せつに関する勉強会の実施 排せつ改善に向けた取組の | 3月 | |

| | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|--|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------|--|----|--|
| | | | 取 組 み | 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | | 意図について指導する その他、新しい機器の開発事業への取り組みなや研究発表等 | 通年 | |
| 4. ケアの質を保つために | ⑥ユニット費を活用している | 認知症ケアへの知識を培い、スタッフひとりひとりが専門性のあるケアを実施し、入居者一人一人が安心して過ごせる環境を提供する | 説明 | サブリーダー | 生活相談員 | 認知症ケアに関する知識の向上、サービスの質向上 | 当該この項目の説明を行う | 4月 | |
| | | | 宣伝 | 施設長 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー | 生活相談員 ユニットリーダー ケアワーカー | | ユニット会議や共有ツールで研修参加の機会を宣伝する | 毎月 | |
| | | | 実施 | ケアワーカー | 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | | 研修受講の内容をユニット会議でフィードバック又は内容に応じてスタッフが講師となり、部署内で勉強会を開催する（ソト面の学習） | 8月 | |
| | | | 計画 | | | | 対象者のモニタリングを行い、解決に向けた方法を検討する 長谷川式スケールや LIFE(旧CHASE)の認知症関連データを活用し、個人に応じたケアを実践する | 3月 | |
| | | | 実施 | | | | ユニット費を活用し、照明の色や設え等、入居者が安心して過ごせる環境づくりを行う（環境の整備） | | |
| 評価 | | | 実施した取組をモニタリングし、24時間ソートやLIFE(旧CHASE) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--------------------------|---|----------------|---|---|------------------------|---|------------|---|--|
| | ④ユニットミーティングは1回/月以上開催している | 終末期ケアに関してスタッフひとりひとりの知識の向上とケアの充実を図り、入居者の生活の質の向上につなげる | 説明 | サブリーダー | 生活相談員 ユニットリーダー ケアワーカー | 終末期ケアに関する知識の向上 | に反映する | 当該項目の説明を行う | 4月 | |
| | | | 実施 | ケアワーカー | ケアワーカー | | 終末期ケアに関する勉強会を1回/年開催する | 2月 | | |
| | | | 計画 | 生活相談員 ケアマネジャー 管理栄養士 看護職員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | 生活相談員 ケアマネジャー 管理栄養士 看護職員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | | 本人や家族の意向を汲み取り、その方に対してどう過ごしてもらうか、スタッフがどう支援していくかを摸索すべく、職員間にかフェリスを実施する その際にデータは必ず見える化する(生活レベルが高い頃から状態の悪化を見据えて情報を収集しておく) | 通年 | | |
| | | | 実施 | | | | | | 必要に応じて家族が本人と寄り添い一緒に過ごしやすい環境を準備する | |
| | | | 評価 | サブリーダー 看護職員 | ケアワーカー | | | | 偲びのかフェリスの開催及び提供したケアの評価や手順に改善の余地はないか検討し、次回以降の終末期ケアに繋げる | |
| その他 ① | 口腔ケアを行い感染症予防や健康維持を行って | 口腔ケアに関する知識を培い、口腔内の健康維持、感染症予防、認知症予防、口腔機能の維持等、 | 説明 | サブリーダー | 生活相談員 ユニットリーダー ケアワーカー | 口腔ケアに関する知識の向上、入居者の健康維持 | 当該項目の説明を行う | 4月 | | |
| 実施 | ケアワーカー | ケアワーカー | 口腔ケアに関する研修への参加 | 6月 | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------|-----------------------------------|---|----------|---|---|---------------|---|------|--|
| | いる | QOL の維持・向上につなげる | 実施 | ケアワーカー | 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | | 研修受講内容をユニット会議でフィードバックし、勉強会を開催する | 6月 | |
| | | | 計画 実施 | 歯科医師又は指示を受けた歯科衛生士 ケアマネジャー 看護職員 管理栄養士 ケアワーカー | 歯科医師又は指示を受けた歯科衛生士 ケアマネジャー 看護職員 管理栄養士 ケアワーカー | | 入居者に対して、歯科医師又は指示を受けた歯科衛生士の助言や指導をもとに計画書を作成する リスクが高い入居者を対象として毎月モニタリングを実施し、口腔、栄養、機能訓練の取組を一体的に運用する | 3月 | |
| | | | 評価 | ケアワーカー | ケアワーカー | | 実施した取組をモニタリングし、24時間シートやLIFE(旧CHASE)に反映する | | |
| | | | 実施 | 歯科医師又は指示を受けた歯科衛生士 | 歯科医師又は指示を受けた歯科衛生士 | | 歯科医師又は指示を受けた歯科衛生士が入居者に対して口腔ケアを2回/月以上実施する | 2回/月 | |
| その他 ② | ツールを活用し、無駄を見極め、無駄を捨てることで作業の効率化を図る | 介護ロボットの活用、IoT や NAS の外部接続、VBA を活用した事務処理の効率化等、無駄を見極め、無駄な業務を捨てる | 説明 | サブリーダー | 生活相談員 ユニットリーダー ケアワーカー | 無駄の削減による質の効率化 | 当該項目の説明を行う | 4月 | |
| | | | 宣伝 | 施設長 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー | 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー | | 介護機器や業務効率化に関する外部研修受講の促し・参加 | 毎月 | |

| | | | | | | | | | |
|----------|------|---------------------|------|--|--|--|---|---------------------------|--|
| | っている | 昨年度と比較して業務の短縮化につなげる | 実施 | 施設長 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | 施設長 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | | Web会議の活用、外部接続を推進する 勤務表や報告書、計画書などVBAを活用し効率化を図る 新たなツールの導入時など、ユニット会議で職員と共有を図り活用方法の摸索や取組を実施する 課題やトラブルが発生した場合は、当月のユニット会議で議論し合い、改善点を抽出し対応する | 3月 | |
| | | | 評価改善 | ケアワーカー | 生活相談員 ユニットリーダー サブリーダー ケアワーカー | | | | |
| その他 ③ | | その他継続内容として | | | | | ①グリーンホームだよりの更新(1回/月) ②高年齢人材の活用(介護助手・生活援助) ③ワークライフバランス(仕事と家庭の両立)等⇒ノー残業デーの策定・有給消化 ④虐待防止・身体拘束の適正化の継続 ⑤風通しの良い職場環境の維持 ⑥ウイルス等感染症対策への取組 | 1回/月 通年 毎週水曜日 通年 | |